

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	○身体拘束をしないケアの実践 安全な椅子が足りなくて車いすが常態化している例があります。	車椅子の常態化をなくす為に、いくつか足りない安全な(回転機能がない)椅子の導入をする。	椅子の購入配置。	1ヶ月
2	17	○入浴を楽しむことができる支援(1号館) 汚染エリアのすぐ上に塗剤をはじめとする薬が置かれていました。また手吹きペーパーの下に歯ブラシが置かれていることから、職員の感染症対策への意識について見直すことを期待します。	現状の汚染エリア上の軟膏薬剤等の保管場所・保管方法を変更する。歯ブラシの置き場を変更する。感染症対策への意識の向上を行なう。	汚染エリア上にあった軟膏類を清潔な袋に個別にまとめ、汚染エリア以外の場所で保管の上、使用時も清潔な場所に置き使用する。歯ブラシの置き場を変更し清潔な場所に置く。感染症対策講座への職員の出席、並びにフィードバックを行なう。	2ヶ月
2	17	○入浴を楽しむことができる支援(2号館) 汚染エリアのすぐ上に塗剤をはじめとする薬が置かれていました。職員の感染症対策への意識について見直すことを期待します。	現状の汚染エリア上の軟膏薬剤等の保管場所・保管方法を変更する。感染症対策への意識の向上を行なう。	汚染エリア上にあった軟膏類を清潔な袋に個別にまとめ、汚染エリア以外の場所で保管の上、使用時も清潔な場所に置き使用する。感染症対策講座への職員の出席、並びにフィードバックを行なう。	2ヶ月
3	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 突起のない画鋲が多用されている居室もありましたので、一度リスクマネジメントの振り返りを行うことを期待します。	突起のない画鋲の使用を中止し他の画鋲や貼付方法を検討実行する。リスクマネジメントの振り返りを行なう。	突起のない画鋲を全て外し、危険の少ない画鋲に統一し貼付しなおす。リスクマネジメントの振り返り研修を職員全体で行なう。	1ヶ月
4	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング モニタリングを行なった内容が文書により記録・保管されていない。	3ヶ月～6ヶ月の範囲でモニタリングをおこなう内容をさらに文書による記録・保管をする。	モニタリング用紙の作成。カンファレンスと同時にモニタリングを記録し保管する。	2ヶ月

5	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 経年劣化の箇所が目立つため、今すぐは無理としても中長期でも修繕を期待します。また、清掃箇所の見直しについても検討を期待します。</p>	<p>経年劣化部分は中長期的に計画し一部ずつ修繕していく。清掃箇所については見直し検討実行する。</p>	<p>修繕が容易に行なえる箇所から修繕を行っていく。まずは壁紙を張り替える計画をする。全体の清掃については職員会議を通じ見直しを行なう。該当箇所については当番制にし掃除を手厚くする。</p>	1~24ヶ月
---	----	--	--	---	--------

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。